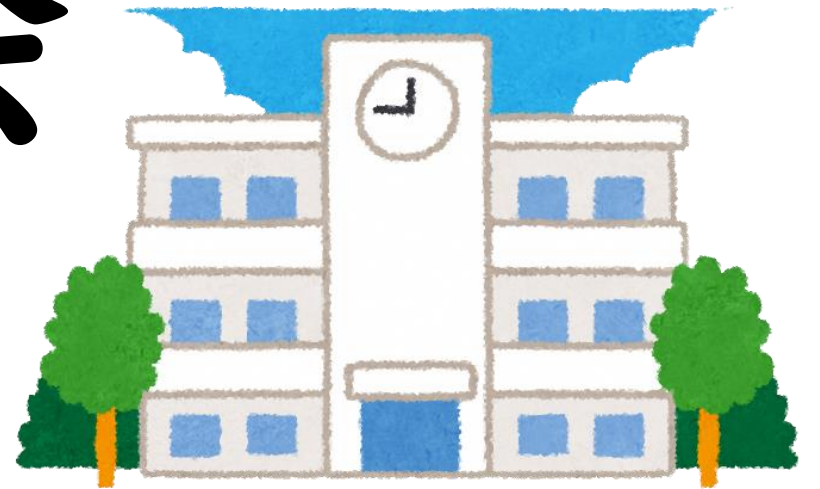


# 裾野市

## 学校教育施設再編基本計画

### 説明会



令和5年3月

学校教育施設再編基本計画を  
策定しました

計画の全編はこちら →



裾野市学校教育施設再編基本計画

令和5年3月

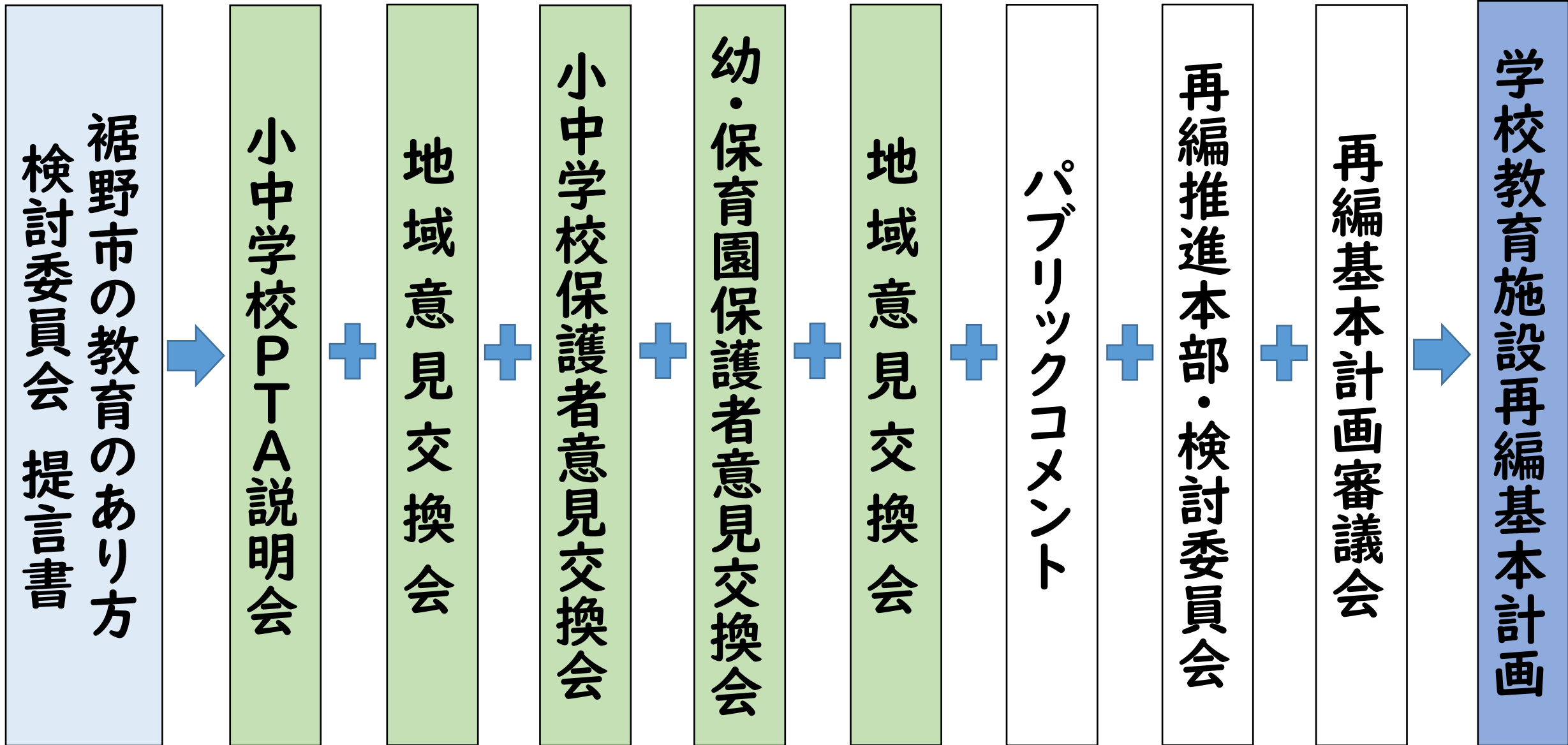
裾野市教育委員会

この計画は、令和元年から策定に取り組み

最終的に全**88**回、計**1000**人以上の

生徒、地域、保護者のみなさまと意見交換会を

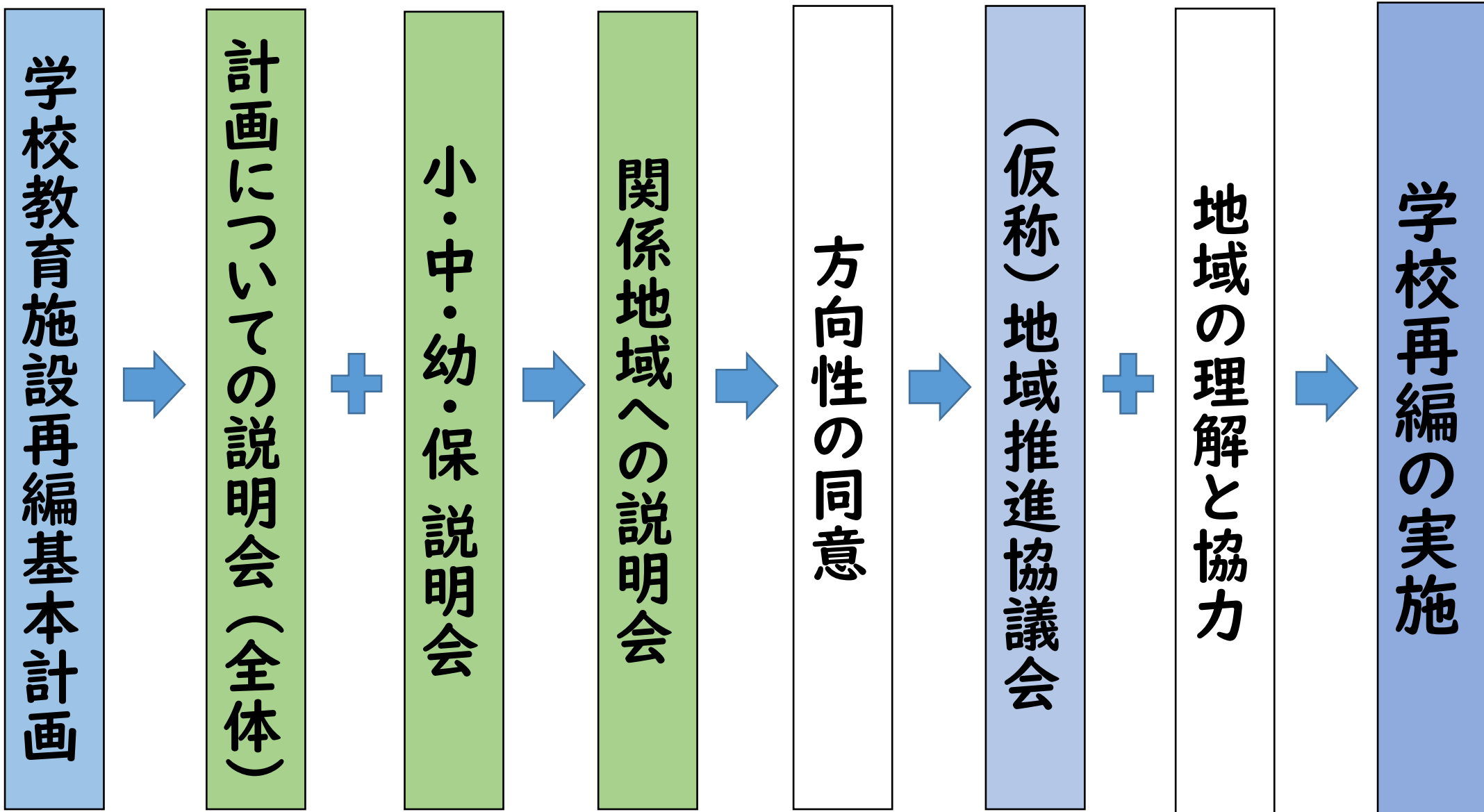
させていただいたことで策定することができました



これまででは**計画策定**のための**意見交換**でしたが、

本日は**市の方針**（計画）を定めたので、

**方針**に対する**皆様のご意見**を伺いにきました



**学校再編は、**

**「児童生徒の減少」と「施設の老朽化」**

**という課題の解決に向けた取り組みだけではなく、**

未来社会を担う子どもたちのために、これまで  
「施設や設備」に費やしてきた支出を「人づくり」  
のための支出へ充当する「床」から「人」への  
教育費の転換を目的としています



計画の期間は、

令和5年度から令和19年度までの

**15年間の計画**です

**前期** (R5~9) **中期** (R10~14) **後期** (R15~19) の

各期5年で計画します

再編整備は、

「適正規模」と「適正配置」の

両面を総合的に判断し、実施します

適正規模は、

「クラス替えが可能な1学年2学級以上となる規模」

この規模を理想としますが、小学校では、「複式学級」になる可能性が

高い場合は、早期に再編を検討します

# 適正配置は、

「既存の学校施設及び用地を活用することを前提に、

地理的条件に加え社会的な成り立ちによる生活圏域に

配慮しつつ、全市的なバランスを考慮した配置」としました

これを踏まえ、

**5**つの再編計画を定めました



## 向田小学校と東小学校の再編（統合）

昨年9月市長より再編を実施すると報告をしました。

その後、学校・保護者・地域の代表と協議を開始し、

課題の洗い出しや警察協議を行いました。

今年度より東地区再編推進協議会を発足し、課題解決に向けた

取り組みや交流事業の促進、閉校事業等について協議します



## これまでの協議事項

### 通学路の安全性

茶畑交番前交差点の歩車分離式信号

警察協議

要望書の提出：市・市議会・区長会・学校・PTAによる連名

### 学校間交流

令和5年度 予算化



## 向田小学校と東小学校の再編（統合）

向田小学校受け入れのため、東小学校の改修工事を行います

R5 設計 / R6 工事 の予定

令和7年4月からの再編（統合）に向けて取り組みを進めます





## 向田小学校跡地への東中学校の移転

向田小学校の再編（統合）とセットの事業と考えています

R6 基本設計 R7 実施設計 R8・9 工事 の予定

令和10年4月からの移転に向けて取り組みを進めます



## 富岡第二小学校と富岡第一小学校の再編（統合）

令和9年に小学2・3年生で複式学級が発生する予定

それを防止するために令和9年を明示しました

# 2

## 富士宮市 複式学級の視察

	富士宮市 A 小学校	富岡第二小学校
全校児童	15人 (3学級)	68人 (6学級: 3・4年複式解消)
職員	8人 (校長、教頭、教員3名、養護教諭、県事務、用務員)	17人 (非常勤含) (校長、教頭、教員6名、養護教諭、県事務、用務員、市事務、市講師、市支援員、県非常勤講師、県スクールサポートスタッフ2名)
児童室	無 (3校合同の児童室。タクシーで移動)	有

# 2

## 富士宮市 複式学級の視察

	メリット	デメリット
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目が行き届く。</li> <li>・支援を必要とする子どもたちも生き生きと過ごせている。</li> <li>・縦割り活動がメインのため、上級生が下級生の面倒を見るという雰囲気ができあがっている。</li> <li>・主役になる回数が多く、失敗を受け入れる余裕・環境がある。輪番制でクラスリーダーを決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書している時間がないため、プロジェクターを配備し、事前に用意した板書を投影。 ただし、理科は目を離すことができないので同時に教えることはできない。残っている先生で対応。</li> <li>・A小学校で培ってきた複式学級のノウハウもあるが、人(教員の能力)で成り立っている部分が多い。</li> <li>・教師の目が行き届きすぎてしまうことで、子どもたちの伸びしろを逆に妨げてしまう。見守る意識。</li> <li>・全て受け身の子どもになってしまう。ある程度、待つことを意識。対教師になりがち。</li> </ul>



## ② 複式学級を機に再編を実施したい理由

- ・子どもたちが直接触れ合う人

多様性を肌で実感・理解する機会を増やしたい

- ・多くの教職員の支援・協力が得られる環境を作りたい

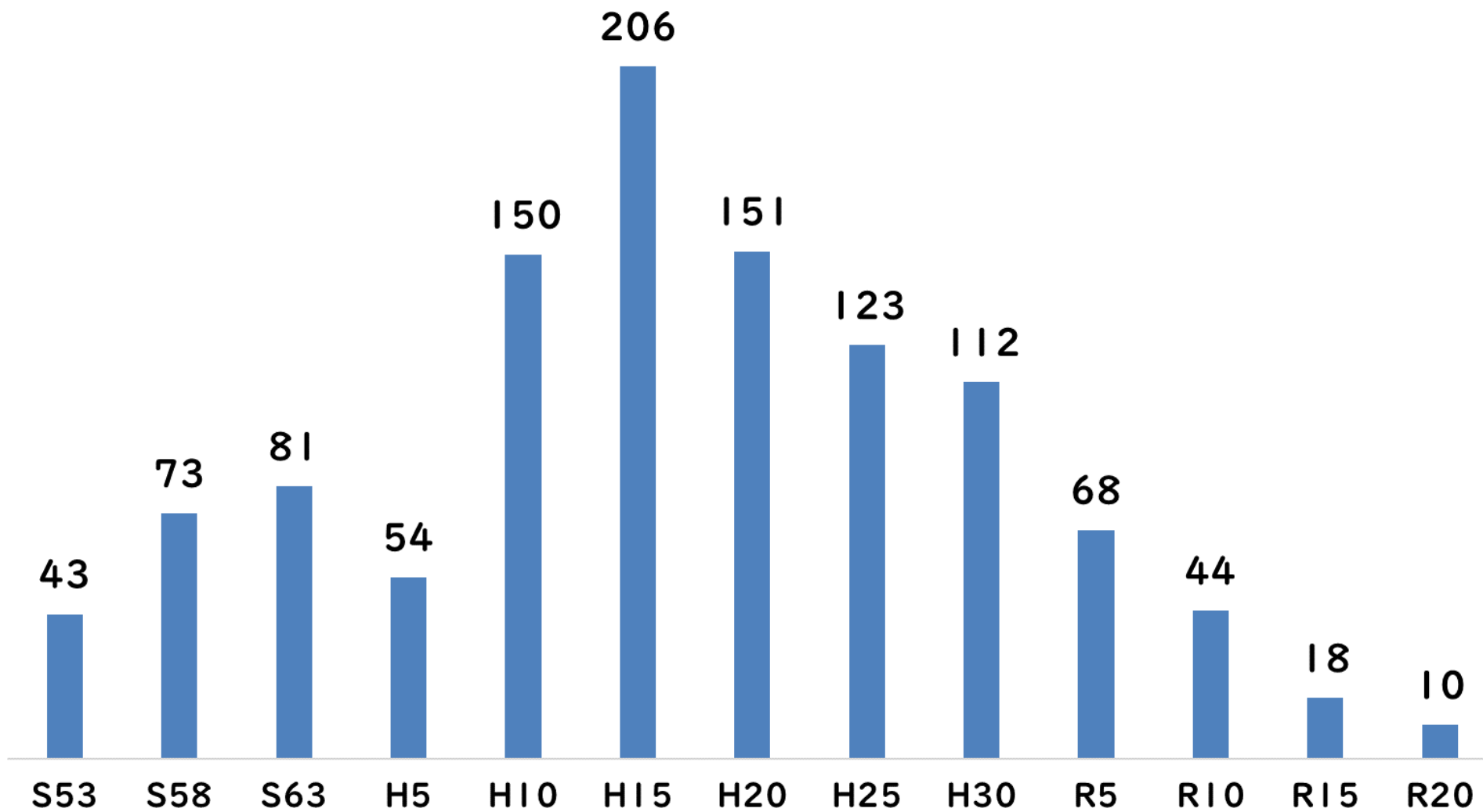


## 富岡第二小学校 児童数 推計 ※資料編抜粋

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R20
1年	10	11	7	6	7	3	4	3	3	3	2	1
2年	12	10	11	7	6	7	3	4	3	3	3	1
3年	7	12	10	11	7	6	7	3	4	3	3	2
4年	9	7	12	10	11	7	6	7	3	4	3	2
5年	18	9	7	12	10	11	7	6	7	3	4	2
6年	12	18	9	7	12	10	11	7	6	7	3	2
合計	68	67	56	53	53	44	38	30	26	23	18	10



## 富岡第二小学校 児童数 推計





## 須山中学校と深良中学校と富岡中学校の再編（統合）

保護者との意見交換会や須山中・深良中の生徒との会話の中で、早期に実現する必要があると実感

敷地の拡張や校舎の改修等に時間を要するため、

最短である中期（R10～14）～後期としました



# 4

## 須山小学校の小規模特認校制度の導入

適正規模からいえば再編対象ですが、適正配置の観点から、

須山小学校を残します

十里木から通っている児童もいることから、あまりにも通学距離が

伸びてしまうことも要因です

何もしなければ複式学級になってしまうため、小規模特認校制度を

採用しました

# 4

## 須山小学校の小規模特認校制度の導入

少人数教育を望む保護者への受け皿という側面もあります

中期としたのは、富岡第二小学校の再編時に富岡第一小学校ではなく

須山小学校を希望する児童の受け皿と中学校再編のタイミングと

合わせたい（近づきたい）という意図があります

# 4

## 須山小学校の小規模特認校制度の導入

小規模特認校制度を実効のある制度にするには、

「地域で学校を支える・盛り上げる」という想いを地域1人1人が

持つ必要があります

須山小学校の「特色」を一体となって考え、見出しましょう

5

千福が丘小学校と富岡第一小学校の再編（統合）

将来的に複式学級が発生する可能性が高い

それを防止するために中期～後期と明示しました

	前期 (R5~R9)	中期 (R10~R14)	後期 (R15~R19)
①	向田小学校と 東小学校の 再編(統合)	向田小学校 跡地への 東中学校の移転	
②		富岡第二小学校と 富岡第一小学校の 再編(統合)	
③		須山中学校と深良中学校と富岡中学校の 再編(統合)	
④		須山小学校の 小規模特認校制度の導入	
⑤			千福が丘小学校と 富岡第一小学校の再編(統合)

   の再編（統合）では、

学区が広くなることから、児童生徒や保護者にとって

過重な負担とならないよう、**スクールバス**などの**運行**、

既存路線バスの**拡充**、**通学費の補助**など、

各学校の実情に合わせた**通学方法を確保**します

そのほか、下記の項目についても再編に伴う課題として支援措置します

- ・児童生徒の心のケア
- ・保護者の負担軽減
- ・学校予算の充実
- ・放課後児童室の利用など

いずれの計画も時期は示していますが、

実際は、保護者および地域の

十分な**理解と協力**が得られた学校から、

可能な限り早い時期に進める方針です



# 参考

## 人口動向（令和5年4月7日現在）

学校	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
向田小学校	7	13	11	16	12	11
富岡第二小学校	4	3	9	7	6	13
須山小学校	12	8	9	14	13	15
千福が丘小学校	6	12	13	10	15	9

# 複式学級

○2つ以上の学年（年齢）をひとまとめにした学級（クラス）編成を指します

国基準：複数学年で16人以下

県基準：複数学年で14人以下

# 小規模特認校

- 学校選択制の一形態である「特認校制」のうち、小規模校において採用されている制度の通称
- 従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認める制度
- 自然豊かな環境の小規模校の良さと、地域の特色を活かした教育環境で学びたいという希望者に対して、一定の条件の下、入学を認める制度
- 小規模校であることに変わりはなく、複式学級の学校もあります

# 中学校進学割合（中学校別）

出身小学校名	進学先	H29	H30	H31	R2	R3	計
東中	生徒数（1年）	133	141	139	132	121	666
	私立等中学校	5	5	3	5	2	20
	割合	3.6%	3.4%	2.1%	3.6%	1.6%	2.9%
西中	生徒数（1年）	143	125	143	130	175	716
	私立等中学校	9	10	3	14	2	38
	割合	5.9%	7.4%	2.1%	9.7%	1.1%	5.0%
深良中	生徒数（1年）	54	46	52	46	45	243
	私立等中学校	1	3	3	2	5	14
	割合	1.8%	6.1%	5.5%	4.2%	10.0%	5.4%
富岡中	生徒数（1年）	111	117	119	132	108	587
	私立等中学校	2	0	2	1	6	11
	割合	1.8%	0.0%	1.7%	0.8%	5.3%	1.8%
須山中	生徒数（1年）	20	18	15	17	14	84
	私立等中学校	3	3	0	4	2	12
	割合	13.0%	14.3%	0.0%	19.0%	12.5%	12.5%
合計	生徒数（1年）	461	447	468	457	463	2,296
	私立等中学校	20	21	11	26	17	95
	割合	4.2%	4.5%	2.3%	5.4%	3.5%	4.0%

# 皆様のご意見をお聞かせください



本日ご意見いただけなかった方は↑こちらのQRコードからアクセスしていただき、ご回答ください